レクバレーをみんなで楽しむ会

第１９回　総 会

書　面　開　催

いつでも、どこでも、誰とでも、参加できる
みんなのスポーツ・レクバレー

〈議　　事〉

議事１　2019 年度　活動報告について
議事２　2019 年度　決算報告および会計監査報告について
議事３　2020 年度　世話人・会計監査・相談役の承認について（案）
議事４　2020 年度　活動計画について（案）
議事５　2020 年度　収支予算について（案）

議事に関するご意見・ご質問は、みんなの会ホームページのサイト・メニューの「お問い合わせフォーム」から「総会・お問い合わせ」を選択し、「２：チーム・３：代表者情報・６：ご意見、お問い合わせ」に入力し送信してください。

議事１　2019年度 活動報告について

（１）大会等の開催および運用

①大会の開催について

ブロック別大会２回（第５１回・第５２回）と３ブロック交流戦を開催しました。
大会開催の報告　（別紙１）

②ブロック体制について

５２回大会から１ブロックのチーム数を２４チームから３２チームに変更し、５２回大会以降は大会結果をもとに８チームを基準にブロック移動を行うこととしました。

③大会参加者名簿について

大会毎にチームの「大会参加者名簿」（氏名、年齢、性別、副審・線審・スポレク登録）の提出を実施しました。５１回および５２回大会の参加者の男女比率、年代別人数等を集約しました。（別紙２）

④促進ルールの適用試合について

今年度の適用試合はありませんでした。（促進ルール：別紙３）

（２）主審および審判講習会

①主審について

・５１回、５２回大会は、専任審判員で主審をしました。
・３ブロック交流戦は相互審判員で行いました。
・審判員は全ブロックから募った審判員です。
・審判運営委員および審判員の多大な協力で、大会運営をスムーズに行うことができました。
・各大会会場で試合後に審判反省会を行いました。大会運営への積極的な姿勢が見られ、審判技能の向上を感じることができました。

②審判講習会の開催の報告

各大会前に審判（主審）講習会を行いました。（別紙１）

③副審・線審講習会の開催の報告

各大会前に副審・線審講習会を行いました。（別紙１）

④審判チーム(副審・線審・スコアラー)について

昨年度から継続し開会式に審判説明を行うとともに、審判台の下とスコアボードの所へ説明書きを置き、主審が試合前に説明をすることで、責任を持って行う審判チームが増えました。

⑤審判運営委員会

審判運営委員会を９回行いました。

⑥審判員について

2019年度末の審判員登録者数は１０４名です。
また、大会会場において、審判員の新規追加登録について各チームにお願いしました。

⑦審判講習会のモデルチームについて

2017年度から審判講習会の参加モデルチームを義務化しました。

⑧みんなの会のルールブックについて

みんなの会のルールブックを作成しました。

（３）登録チーム数について

2019年度末現在の登録チーム数は、２２３チーム（前年度比＋７）です。

（4）行政の後援について

第３７回大会より愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会に申請し後援承諾を得ています。2019 年度も大会毎に申請し後援承諾を得ました。

（5）大会会場確保のための名古屋市ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ情報ｼｽﾃﾑ利用登録

１チーム１０名以上の登録の義務化および追加協力の要望等により、3,000 件の登録件数を目指しましたが、2019 年度末現在、2,926 件（前年度比＋234）です。

（6）チャレンジセミナーの開催

昨年度に引続き、レクバレーの技術の向上を目的に第４回チャレンジセミナーを開催しました。（別紙４）

開催日　　2020 年 2 月 9 日（日）　場所　名古屋市体育館

参加者数　４４人（男性１４人　女性３０人）

（7）ホームページの活用

ホームページにて大会情報を掲載しました。

（8）広報活動

・昨年度に引き続き「みんなの会　参加チーム募集中」のポスターを名古屋市スポーツセンターに掲示し、参加チームの募集を行いました。
・チーム交流の一助として、大会会場に練習相手募集の案内を掲示しました。
・20 周年記念イベントのポスターを大会会場に掲示しました。

（9）連絡網の確立

伝達手段として、パソコン・携帯メールおよび郵送等で行いました。

(10) 手引きの作成

第３版の作成に向け取り組んでいます。

(11) 総会、会議等の開催

「みんなの会」を運営し大会を開催するため、総会、代表者会議、世話人会、を行いました。

2019 年　4 月　6 日（土）稲永スポーツセンター第 2 競技場で第１８回総会を開催
2019 年　9 月　7 日（土）稲永スポーツセンター第 2 競技場で第１４回代表者会議を開催
2019 年 5 月～2020 年 3 月までに 11 回の世話人会を開催

(12) 年会費および大会参加費について

第１８回総会にて承認をいただき年会費 4,000 円、ブロック別大会参加費 4,000 円、３ブロック制交流戦 3,000 円としました。

議事２　2019 年度 決算報告および会計監査報告について

2019 年度の決算および会計監査の報告（別紙５）

議事３　2020 年度 世話人・会計監査・相談役の承認について（案）

引き続き相談役を設け、みんなの会の活動についての助言をお願いしていきます。

なお、活動内容、方針は世話人会で決定し、最高議決機関は総会となります。

レクバレーをみんなで楽しむ会　組織図 2016. 4. 10 改定　（別紙６）

2020 年度の世話人、会計監査、相談役名簿案　（別紙 7）

レクバレーをみんなで楽しむ会　会則　（別紙 9）

議事４　2020 年度 活動計画について（案）

2020 年度活動方針

みんなの会は、２００１年に発足以来、レクリエーションバレーボール（レクバレー）の発展のため誰もがレクバレーを身近に楽しむことができる環境をつくろうという熱い思いが受け継がれて、本年度２０年目を迎えることができました。私たちの思いは、２０１１年６月に制定されたスポーツ基本法の理念『スポーツは地域において身近に親しむことができるようにするとともに、全ての世代の人々の交流が促進され、地域間の交流の基盤が形成されるものとなるよう推進されなければならない。』にも通ずるものであり、この思いを次世代のみなさんに継承し、みんなの会の更なる発展を目指します。

活動方針を柱とした会の活動

今年度の主な活動は以下の３点とします。

① 今年度も行政後援の継続やホームページ等の活用により、みんなの会がスポーツ振興に意義ある活動団体であることを広報活動していきます。
② 生涯スポーツとしてのレクバレーの発展のために寄与します。
③ 魅力のある会を目指し、参加者が楽しんでいただける内容を企画します。

（１）大会の開催および運用

① 大会開催について（開催予定　別紙１）
- ブロック別大会を２回予定しています。
- ２０周年感謝祭交流戦を予定しています。

ただし、新型コロナウイルス感染の影響により、大会を中止する場合があります。
（※53 回ブロック別大会は中止とさせていただきました。）

② ブロック体制について

３２チームを１ブロックとし、A～Gの７ブロック体制とします。大会結果によるブロック移動は８チームを基準に行います。（大会欠場のチームは移動の対象になります。）

新規参加チームは、Gブロックに属します。なお、Gブロックが４８チーム以上になった場合は、Hブロックを新設します。

③ 参加資格について
- みんなの会の趣旨に賛同すること。
- チーム登録票（チーム名、代表者等）を提出し、年会費と大会参加費を支払うこと。
  登録期間は、４月～翌年３月までの１年間とします。
  なお、継続して登録する場合は、登録票提出の必要はありません。
- 総会・代表者会議・抽選会等の会議に必ず出席すること。
- 「名古屋市スポーツ・レクリエーション情報システム利用登録」を１チーム１０名以上提出していること。ただし初めて参加するチームは出場３大会目から適用します。

④ 大会の抽選会について

抽選会に欠席したチームは、理由の如何を問わず大会欠場としブロックは移動します。

ただし、チーム関係者による代理抽選は可とし、他チームによる抽選は不可とします。

⑤ 年会費および大会参加費について

年会費：4,000 円　大会参加費：4,000 円　２０周年感謝祭交流戦：3,000 円とします。

年会費はチーム登録を抹消した場合を除いて、納めていただく必要があります。年会費を納めない場合は登録抹消になります。したがって、新たに登録した場合は、新規チームとして取り扱います。

各チームは大会参加費を支払い、支払わないチームは大会に参加できません。抽選会翌日以降に試合出場をキャンセルしたチームには、原則参加費の返納は行いません。

⑥ 背番号について

前年度と同様に次のとおり定めます。

(1) 番　号：０～９９番

(2) 色・形：明確に判別することができる色、文字体

(3) サイズ：中央に、１５ｃｍ四方以上、字幅２ｃｍ以上
（ビブスゼッケンおよび布ゼッケン等での対応でも可能）

⑦ 大会参加者名簿について

・大会毎に大会日の受付時に大会参加名簿を提出すること。
・大会参加名簿の各項目（背番号、氏名、性別、年齢、副審・線審担当・スポレク登録）を漏れなく記入のこと。
・スポレク(名古屋市スポーツ・レクリエーション情報システム）の欄は、既に登録済みの方（他団体を含む）は「済」に、未登録の方は「未」にマル印（○）をつけてください。
・新規チームに限って、副審、線審の適任者がいない場合は本部に申し出てください。
・大会参加者名簿は、チームのメンバー登録ではなく、参加者の提示に過ぎません。

⑧ 促進ルールについて

会場借用終了時刻までに大会が終了しない恐れがある場合は、促進ルールを適用します。

⑨ 大会試合球

大会試合球は５３回大会からミカサ［Ｖ４００Ｗ］を使用します。

（２）審判の活動方針

① 主審について

・審判運営委員会と連携し、審判組織をさらに強化するとともに、審判技能の向上を目指します。
・審判員については、ブロックを問わず、随時募集します
・チーム解散などで所属チームがなくなっても、本人の意思があれば、継続して審判をお願いしていきます。
・１チームから一人以上、審判員登録の協力を要請していきます。
・大会本番で主審を経験すること、また他の審判員の主審を見ることを、審判育成の一環として位置づけます。

② 審判講習会
新たに作成した「みんなの会ルールブック」をもとに、審判講習会を大会前に開催します。

③ 審判講習会の参加モデルチームは義務化とします。

④ 副審・線審講習会
・試合における公平・公正性の確保ができるよう副審・線審講習会を実施します。
・大会時に、審判チームとして副審・線審・スコアラーに就かれたチームで、その役割に問題があったチームに対し、大会前の副審・線審講習会への参加を義務化します。

⑤ 審判運営委員会を引き続き行います。

（3）行政の後援について

今年度も継続して、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会の後援名義使用承認のための申請を行い、みんなの会の目的に沿った健全な大会を目指します。

（4）大会会場確保のための名古屋市ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ情報ｼｽﾃﾑ利用登録等の協力

名古屋市スポーツセンターの利用は、名古屋市スポーツ・レクリエーション情報システムでの抽選申込を行い当選することで利用可能となります。近年、抽選申込数が増加し当選確率が非常に低い状況です。会場確保が困難のために、2018 年度よりブロック大会は、年３回から２回の大会開催になっています。会場がなければレクバレーの大会開催はできません。参加する選手の皆さんの協力があってこそ大会開催が実現できます。10 名以上の登録をしていただいているチームの皆さんも更に追加をお願いします。

みんなの会に参加する選手に限らず、家族や友人知人等、中学生以上の方であれば居住地に関係なく「名古屋市スポーツ・レクリエーション情報システム」の利用登録が可能です。

また、会場確保のために、名古屋市スポーツセンター以外の体育館や企業の体育館の利用について情報提供をお願いします。今後、会場確保がより困難になっていくことが予想されますので、更なる登録を大会会場等で呼びかけます。

（5）ホームページの活用

前年度と同様にホームページを活用し、親しみやすいホームページにするよう努めます。

（6）広報活動

「みんなの会　参加チーム募集中」のポスターを全ての名古屋市スポーツセンターに掲示し、参加チームを募集していきます。また、ホームページでも引き続き、参加チームを募集していきます。さらに今年度からインスタグラム等を活用した広報活動を展開していきます。

（7）連絡網について

① 総会・大会等の連絡

今まで、チーム代表者への各種連絡（大会要項、総会案内、抽選会案内等）は、パソコンメールと郵送で行っていましたが、**今後は、経費と事務作業の削減、および迅速な周知徹底のため、郵送案内を取りやめ携帯メールおよびパソコンメールへ案内し、ホームページにて掲載内容を確認していただくことに変更します。**

※連絡不能防止のため、携帯・パソコンのアドレス変更および代表者変更時は、みんなの会ホームページの「チーム登録情報変更連絡」にて必ず連絡ください。

② 非常災害時の大会開催の可否連絡

非常災害時における大会等の開催可否は、代表者の携帯メールへの送信とホームページのお知らせボードに掲載します。

③ 個人情報

個人情報については、適正な利用、管理の厳格化に努めます。

（8）手引きの作成

掲載内容を確立し、引き続き『手引き』第３版の作成に取り組みます。

（9）総会、会議等の開催

「みんなの会」を運営するため、総会をはじめ代表者会議、世話人会等を行います。

（10）その他

① 世話人および大会運営等のスタッフを随時募集します。
② 技術の向上を目的としたチャレンジセミナーの開催を検討します。
③ 大会用ボールについては、前年度同様に㈱ミカサからの一部提供が決まりました。
④ 「登録チーム名」を変更する場合は、事務手数料として、1,000 円を徴収します。
⑤ 「チーム代表者」と「登録チーム名」を同時に変更することはできません。
⑥ 試合結果の記録確認のため試合終了後、両キャプテンは主審とスコアーボードまで同行しスコアーカードに誤りがないかを確認後、スコアーカードにサインをしてもらうことを継続します。

議事５　2020 年度 収支予算について（案）

2020 年度の収支予算　（別紙 8）

2019年度　大会・審判講習会等の開催報告

大会	日程／ブロック／会場		抽選会／審判講習会 日程／会場
第５１回大会 (ブロック別) 212ﾁｰﾑ参加 1,741人	2019年05月19日(日)	ADFﾌﾞﾛｯｸ　ｶﾞｲｼ第2	□総会・抽選会 2019年4月6日(土)18:30～ 稲永SC第2競技場 □審判講習会 2019年4月14日(日)18:30～ 稲永SC第2競技場 □副審線審講習会 2019年4月20日(土)18:30～ 稲永SC第2競技場
	2019年05月26日(日)	BEHﾌﾞﾛｯｸ　名東SC	
	2019年06月02日(日)	CGIﾌﾞﾛｯｸ　露橋SC	
	2019年06月09日(日)	ADFﾌﾞﾛｯｸ　北SC	
	2019年06月16日(日)	BEHﾌﾞﾛｯｸ　名東SC	
	2019年06月23日(日)	CGIﾌﾞﾛｯｸ　稲永SC	
	2019年06月30日(日)	DFHﾌﾞﾛｯｸ　ｶﾞｲｼ第2	
	2019年07月07日(日)	AEGﾌﾞﾛｯｸ　緑SC	
	2019年07月14日(日)	BDIﾌﾞﾛｯｸ　北SC	
	2019年07月21日(日)	CEGﾌﾞﾛｯｸ　ｶﾞｲｼ第2	
３ブロック制 交流戦 108ﾁｰﾑ 860人	2019年07月28日(日)	A～C, D～F, G～I　北SC	
	2019年08月04日(日)	A～C, D～F, G～I　名東SC	
	2019年08月04日(日)	A～C, D～F, G～I　露橋SC	
第５２回大会 (ブロック別) 209ﾁｰﾑ参加 1,693人	2019年10月20日(日)	ACGﾌﾞﾛｯｸ　名東SC	□代表者会議・抽選会 2019年9月7日(土)18:30～ 稲永SC第2競技場 □審判講習会 2019年9月14日(土)18:30～ 稲永SC第2競技場 □副審線審講習会 2019年9月28日(土)18:30～ 稲永SC第2競技場
	2019年10月27日(日)	BDFﾌﾞﾛｯｸ　中村SC	
	2019年12月01日(日)	AEGﾌﾞﾛｯｸ　露橋SC	
	2019年12月08日(日)	BDFﾌﾞﾛｯｸ　北SC	
	2019年12月15日(日)	ACEﾌﾞﾛｯｸ　名東SC	
	2019年12月22日(日)	CDGﾌﾞﾛｯｸ　稲永SC	
	2019年12月22日(日)	AEFﾌﾞﾛｯｸ　中村SC	
	2020年01月19日(日)	BDEﾌﾞﾛｯｸ　ｶﾞｲｼ第2	
	2020年02月02日(日)	ACGﾌﾞﾛｯｸ　露橋SC	
	2020年02月16日(日)	BDFﾌﾞﾛｯｸ　北SC	
第４回チャレンジセミナー	2020年02月09日(日)	名古屋市体育館	

2020年度 大会・審判講習会　開催の計画　（案）

大会	日程／ブロック		審判講習会／抽選会 日程／会場
第５３回大会 (ブロック別)	2020年05月24日(日)	ＢＦＧブロック	新型コロナウイルス感染症の影響により５３回大会（ブロック別大会）は中止 新型コロナウイルス感染が終息すれば、交流戦を予定
	2020年05月31日(日)	ＡＣＥブロック	
	2020年06月07日(日)	ＢＤＧブロック	
	2020年06月14日(日)	ＡＣＥブロック	
	2020年06月21日(日)	ＢＤＦブロック	
	2020年06月28日(日)	ＣＥＧブロック	
	2020年07月05日(日)	ＡＤＥブロック	
	2020年07月19日(日)	ＢＦＧブロック	
	2020年07月26日(日)	ＡＣＥブロック	
	2020年08月02日(日)	ＢＤＦブロック	
第５４回大会 (20周年記念大会)	未定	未定	□代表者会議・抽選会 2020年9月12日(土)18:30～ 稲永SC第2競技場
２０周年感謝祭	2021年01月10（日）	日本ガイシホール	

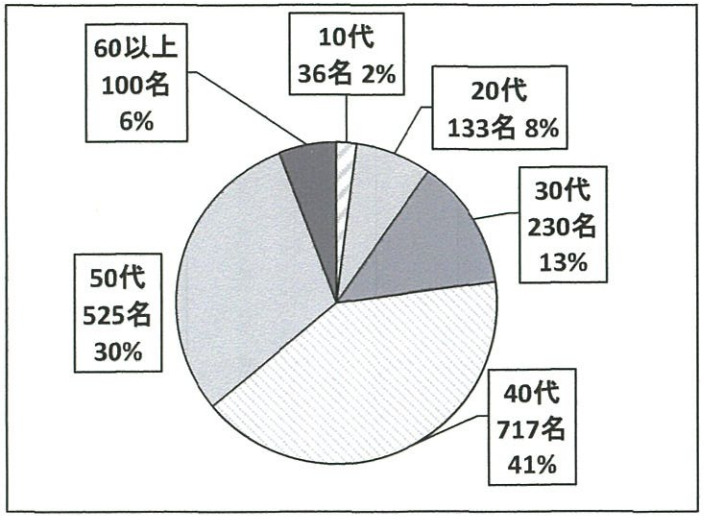
レクバレーをみんなで楽しむ会　第51回大会参加者集計　（2019年5月19日～2019年7月21日）

■参加者集計

	集計	男性	女性
参加チーム数	212	-	-
参加者数	1,741	791	950(55%)
チーム平均人数	8.2	3.7	4.5
平均年齢	45.2	44.7	45.7
最高齢	78	69	78
最年少	12	12	14

【ブロック別】	A	B	C	D	E	F	G	H	I
参加チーム数	23	24	23	24	21	24	23	23	27
参加者数	177	186	193	193	178	185	204	185	240
チーム平均人数	7.7	7.8	8.4	8.0	8.5	7.7	8.9	8.0	8.9
平均年齢	43.9	45.5	45.3	45.5	47.0	47.5	45.2	45.1	42.8
男性参加者数	84	88	87	92	74	87	94	84	101
女性参加者数	93	98	106	101	104	98	110	101	139
	52.5%	52.7%	54.9%	52.3%	58.4%	53.0%	53.9%	54.6%	57.9%

■年代別参加者数



17　71　121　299　230　53

【男女別】	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
男	17	71	121	299	230	53	791
女	19	62	109	418	295	47	950
総計	36	133	230	717	525	100	1741

【ブロック別】	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	総計
A	1	23	24	68	55	6	177
B	1	17	19	82	59	8	186
C	5	22	16	69	70	11	193
D	3	22	16	76	64	12	193
E	1	8	17	82	58	12	178
F	4	5	17	74	72	13	185
G	3	12	29	97	54	9	204
H	3	16	32	69	46	19	185
I	15	8	60	100	47	10	240
総計	36	133	230	717	525	100	1741

■その他

チーム平均年齢	チーム数
～34	7
35～39	23
40～44	57
45～49	79
50～57	46

チーム人数	チーム数
6	18
7	60
8	56
9	41
10	24
11	5
12～15	8

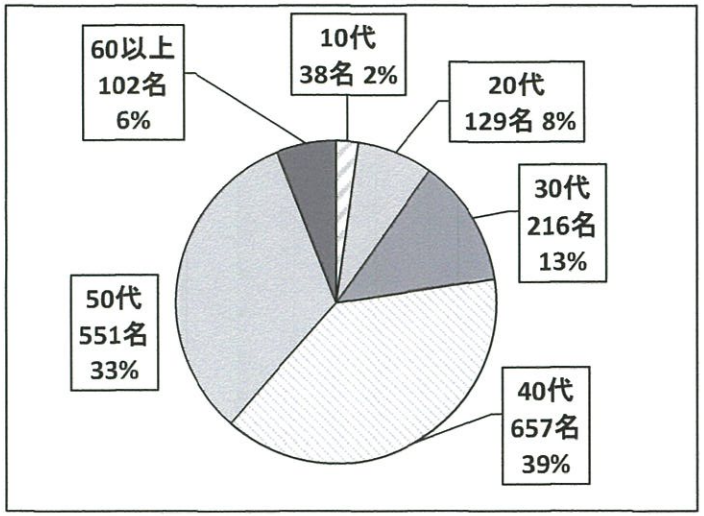
レクバレーをみんなで楽しむ会　第52回大会参加者集計　（2019年10月20日～2020年2月16日）

■参加者集計

	集計	男性	女性
参加チーム数	209	-	-
参加者数	1,693	786	907(54%)
チーム平均人数	8.1	3.8	4.3
平均年齢	45.5	44.8	46.2
最高齢	79	70	79
最年少	13	13	13

【ブロック別】	A	B	C	D	E	F	G
参加チーム数	31	31	31	31	32	30	23
参加者数	233	250	243	258	269	244	196
チーム平均人数	7.5	8.1	7.8	8.3	8.4	8.1	8.5
平均年齢	45.0	46.1	45.5	47.1	45.9	45.7	42.9
男性参加者数	116	113	110	118	124	113	92
女性参加者数	117	137	133	140	145	131	104
	50.2%	54.8%	54.7%	54.3%	53.9%	53.7%	53.1%

■年代別参加者数



【男女別】	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
男	21	69	117	281	245	53	786
女	17	60	99	376	306	49	907
総計	38	129	216	657	551	102	1693

【ブロック別】	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	総計
A	0	33	30	75	84	11	233
B	4	23	16	103	91	13	250
C	4	21	17	111	80	10	243
D	5	13	29	89	101	21	258
E	9	14	36	106	86	18	269
F	6	13	47	91	67	20	244
G	10	12	41	82	42	9	196
総計	38	129	216	657	551	102	1693

■その他

チーム平均年齢	チーム数
20代	2
30～34	5
35～39	24
40～44	50
45～49	76
50～58	52

チーム人数	チーム数
6	27
7	52
8	59
9	42
10	14
11	7
12～15	8

促進ルールについて

2016年1月9日

代表者各位

レクバレーをみんなで楽しむ会
代表　　角田健吾

【促進ルールについて】

1.促進ルールの適用

＊　15:00時点で、すべてのチームが2試合終了していない場合に促進ルール適用を考慮する。
＊　　理由：会場借用終了時刻までに大会が終了しない恐れがあるため。

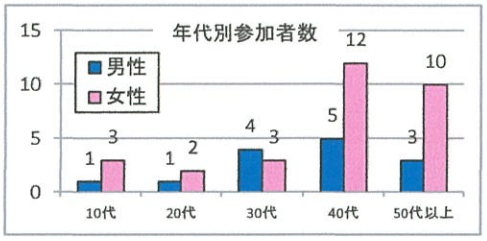
2.適用した場合

1）1試合を30分の時間制とする。
2）30分以内に試合が終了していればその結果を採用する。
3）試合途中で30分の時間が切れた場合の取り扱いは、
ア、セット途中の場合、そのセットの勝敗は点数の多い方を勝者とする。
イ、同点の時、1セット目と2セット目の勝者が違う場合や、3セット目が同点の時は、
コート移動は取らず、ポジションもそのままで、1点勝負で勝敗を決める。
ウ、2セット目の途中で時間切れになり、2セット目が同点の場合は、
1セット目の勝者が勝ちとする。勝ち点は勝者3点、敗者2点とする。
エ、残り時間2分の時点で、『残り時間2分』と放送を入れます。
この放送後の各チームによる【タイム】は認めないものとする。
オ、30分後『終了』のアナウンスを入れた時点で、ゲーム終了とする。
（ボールが生きている状態でもアナウンスと同時にボールデッドとする）
カ、促進ルールを適用したチームと、適用されないチームの取り扱いは、
勝ち数→勝ち点→得失点の順で、同じ扱いとする。

3.適用の仕方と運営

1）促進ルールはコート別で執り行う。（3コート同時適用もあり得る。）
2）15:00の時点で、残り4試合以上の試合数がある場合は、促進ルールの適用を考慮する。
3）試合進行の早いコートへの移動をして、促進ルールの回避に努めるが、終了時刻が心配な場合は本部が促進ルール適用を決定し、当該チーム代表と担当審判に対して促進ルールの詳細説明を行う。

レクバレーをみんなで楽しむ会 第４回チャレンジセミナー



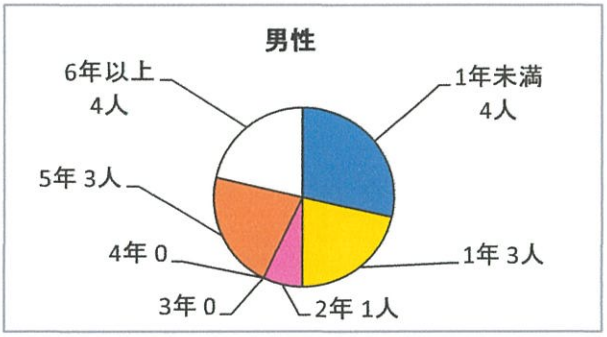
1. 開催日・会場　2020年2月9日（日） 名古屋市体育館

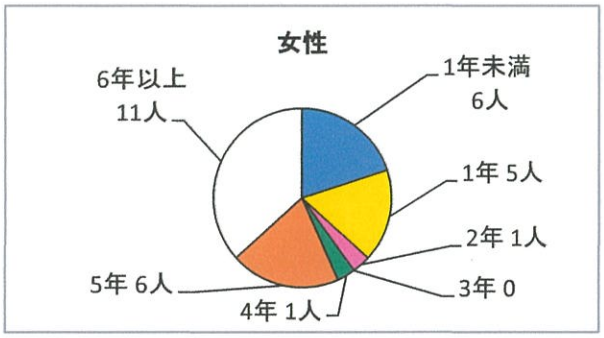
2. 講　　師　　世話人　村瀬

3. 実施内容　　パス練習、つなぎ練習、ポジション別練習、シート練習等

4. 参加者数　44人（男性14人　女性30人）　参加2回目：女性4人　3回目：男性1人

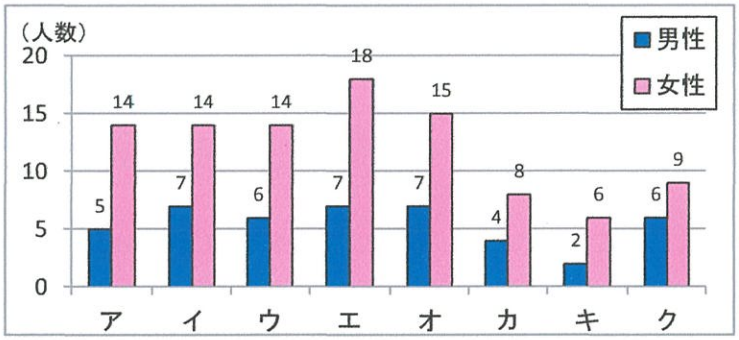
◇レクバレー経験年数別参加者割合





5. 集約（アンケート結果）回答数：男性14人、女性30人

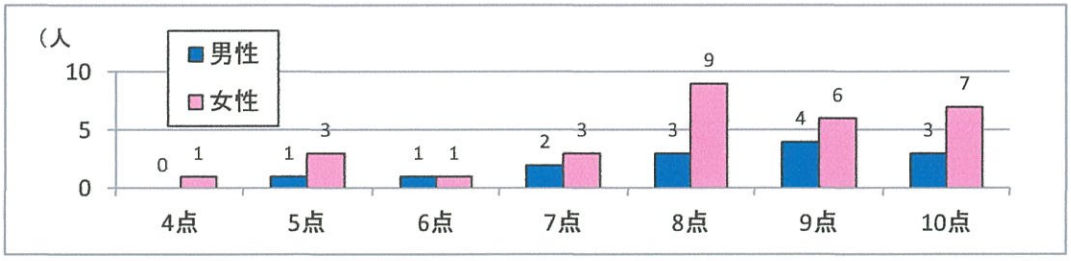
◇チャレンジセミナーで参考になった内容（複数回答可として集約）　男性14人、女性30人



〈内容〉

ア．ひとりパスの練習方法
イ．対面パス
ウ．つなぎ練習
エ．カバーリングの動き
オ．ポジション別の練習
カ．シート練習
キ．サーブ練習
ク．乱打，ゲーム形式

◇参加者満足度（1～10点）



◇参加した感想・今後取り入れてもらいたい内容、その他意見等

男性30代
- 練習方法を教えていただき参考になりました。

男性40代
- 良かったです。
- ホワイトボードでの説明などを取り入れていただくと私のような初心者には分かり易いと思いました。

男性50代
- 反則にならないアタック練習。
- 会場確保の問題はあると思うが、年に1回だけではなく、あまり期間をあけずに行って欲しい。

女性30代
- 楽しくバレーができました。
- チーム練習では気づけない動きを教えてもらえて勉強になりました。
- また開催をお願いします。
- 非常に勉強になりました。
- 説明が分かり易かったです。

女性40代
- 練習ができる場があったら、これからも是非参加したいです。
- とても楽しく充実した内容でした。
- 実戦練習（ゲーム）では、自分ができているかどうかわからないのでコメントをもらえると嬉しいです。

女性50代
- 強いサーブに対するレシーブの練習を教えて欲しい。

2019年度 決算報告

収入金額　3,402,857円
支出金額　2,923,320円
残　額　479,537円

＜収入＞　（円）

項　目	予算額A	決算額B	差額(B－A)	説　明
前年度繰越	420,038	420,038	0	2018年度から
会　費	880,000	862,000	△ 18,000	年会費@4,000×213チーム @2,000×5
参加費	2,068,000	2,035,200	△ 32,800	大会参加費 @4,000×423(2大会) =1,692,000 3ブロック制交流戦 @3,000×110=330,000 チャレンジセミナー@300×44=13,200
その他	1,000	85,619	84,619	チーム名変更代2,000 笛、サポータ等売上手数料等 利息他
計	3,369,038	3,402,857	33,819	

＜支出＞　（円）

項　目	予算額A	決算額B	差額(A－B)	説　明
報償費	1,350,000	1,202,550	147,450	大会審判等謝金（2大会分）704,000 交流戦謝金等　121,000 世話人会・審判運営委員会等謝金 377,550
使用料及び賃借料	970,000	938,380	31,620	大会会場費2大会　718,000 3ブロック制交流戦会場費　109,110 総会、代表者会、審判講習会 世話人会等会場費等111,270
消耗品費	200,000	208,162	△ 8,162	ボール代174,796 （51回15個、52回15個交流戦5個） ※34個分は(株)ミカサからの協賛 その他事務費
印刷費	150,000	160,807	△ 10,807	総会、代表者会、大会、世話人会等会議資料印刷費等
備品費	3,000	4,296	△ 1,296	大会用備品
通信費	50,000	13,574	36,426	審判員等への連絡費
活動費	70,000	80,782	△ 10,782	連絡用携帯電話代・ホームページ維持費等
雑　費	5,000	0	5,000	
積立金	300,000	300,000	0	記念行事用積立
予備費	271,038	14,769	256,269	大会用食糧費
計	3,369,038	2,923,320	445,718	

◇記念大会積立金会計　（円）

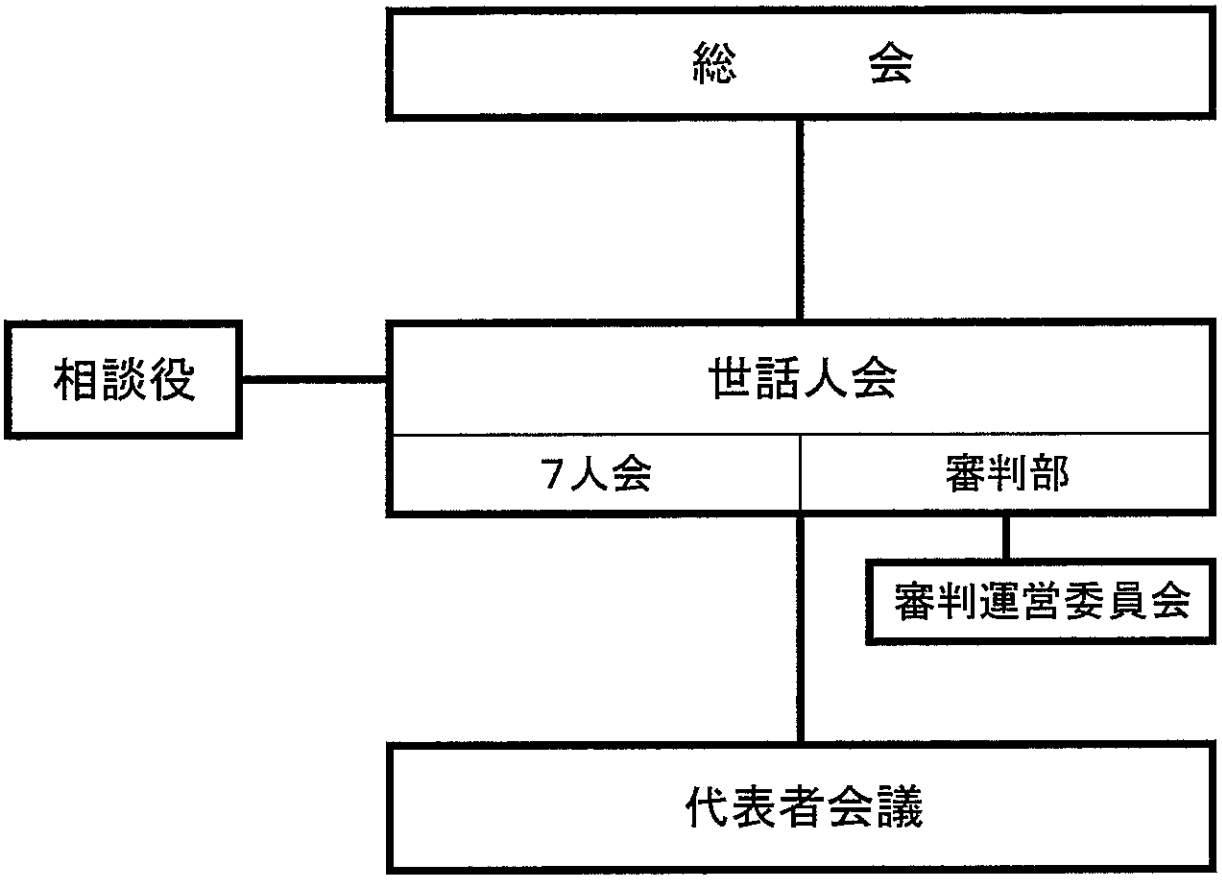
項　目	予算額A	決算額B	差額(B－A)	説　明
前年度繰越金	402,540	402,540	0	
今年度積立額	300,000	300,000	0	
計	702,540	702,540	0	

❒監査報告　2019年度の決算について、会計帳簿並びに証拠書類を慎重に監査したところ、その内容が正確であることを確認しました。

2020年4月8日　会計監査　鶴田 勝彦　　会計監査　湯本 孝美

2016.4.10改定

❒レクバレーをみんなで楽しむの会　組織図



2020年度　世話人・会計監査・相談役の承認（案）

【世話人】

	役　割	名　前
1	代　　表	加　納　幸　男
2	事　務　局　長	角　田　健　吾
3	財　政　部　長	福　井　松　夫
4	大会運営部長	上　村　重　臣
5	審　判　部　長	水　野　　学
6	広　報　部　長	村　瀬　稔　幸
7		高　田　香　代　子
8		神　谷　恵　美　子
9		川　畑　賢　治
10		高　橋　豊　茂
11		坂　口　浩　治
12		小　貝　早　智　子
13		矢　田　清　高
14		竹　内　明　美
15		石　井　惠　介
16		中　澤　紀　夫
17		浅　野　智　子
18	新　　任	八　神　あ　ず　さ
	退　　任	中　垣　　智
	退　　任	杉　山　欽　三

【会計監査】

1	会　計　監　査	鶴　田　勝　彦
2	会　計　監　査	湯　本　孝　美

【相談役】

1		筏　井　幸　夫
2		田　中　　亨
3		出　口　豊　樹
4		村　木　正　人

審　判　運　営　委　員　（紹介）

【審判運営委員】

1	委　員　長	平　野　　元
2	副　委　員　長	佐　治　秀　一
3	副　委　員　長	森　田　和　宏
4		小　川　政　宣
5		水　野　　毅
6		竹　内　　禎

2020年度　予算(案)

収入金額　　3，120，537円

支出金額　　3，120，537円

＜収入＞　　(円)

項　目	本年度予算額A	前年度予算額B	差額(A—B)	説　明
前年度繰越	479，537	420，038	59，499	2019年度から
会　費	880，000	880，000	0	年会費@4，000×220チーム
参加費	1，760，000	2，068，000	△ 308，000	大会参加費@4，000×440(2大会) (53回220・54回220)
その他	1，000	1，000	0	利息他
計	3，120，537	3，369，038	△ 248，501	

＜支出＞　　(円)

項　目	本年度予算額A	前年度予算額B	差額(A—B)	説　明
報償費	1，350，000	1，350，000	0	審判員・専任世話人謝金　2大会 世話人会謝金等
使用料及び賃借料	800，000	970，000	△ 170，000	大会会場費2大会×10会場 総会、代表者会、審判講習会 世話人会等会場費
消耗品費	210，000	200，000	10，000	ボール代１会場3個×10会場×2大会 その他事務費等
印刷費	160，000	150，000	10，000	総会、代表者会、大会、世話人会等会議資料印刷費等
食糧費	15，000	0	15，000	大会用
備品費	3，000	3，000	0	大会用備品
通信費	50，000	50，000	0	審判員等への連絡費
活動費	80，000	70，000	10，000	連絡用携帯電話代・ホームページ維持費等
雑　費	5，000	5，000	0	
積立金	200，000	300，000	△ 100，000	記念行事用積立
予備費	247，537	271，038	△ 23，501	
計	3，120，537	3，369，038	△ 248，501	

◇記念大会積立金会計　　(円)

項　目	本年度予算額	前年度予算額	差額	説　明
前年度繰越金	702，540	402，540	300，000	
今年度積立金	200，000	300，000	△ 100，000	
計	902，540	702，540	200，000	

レクバレーをみんなで楽しむ会　　会則

1　会の名称

この会の名称は「レクバレーをみんなで楽しむ会」とします。

2　目　的

この会は、名古屋市教育委員会が考案し、名古屋市が誇る市民スポーツ・生涯スポーツであるレクリエーションバレーボール（レクバレー）を、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも楽しむことができる環境をつくり、もって本来のスポーツの振興や地域コミュニティー形成に寄与することを目的とします。

3　活　動

この会は前記の目的のために以下の活動を行います。

(1) レクバレーや生涯スポーツ振興に関する情報の収集と提供

(2) レクバレーを楽しむ人々のネットワークづくり

(3) レクバレー大会・練習会の開催

(4) 他の関係者や関係団体との連携

(5) その他必要な活動

4　会　員

この会の趣旨に賛同する人は、年齢、性別、所在地に制限なくこの会に登録し会員になることができます。会員はチーム会員とし、この会の運営に携わり、この会の決議に参加できます。

会員は本人の意思により退会することができます。

登録詳細については、別紙登録要領によります。

(1) チーム会員：チームと代表者名にて登録を行う。

5　世話人と世話人会

会員の承諾を得て、会員数名を世話人とします。世話人の任期は原則として 1 年とし、再任を妨げません。世話人により世話人会を構成します。世話人会は会員の意見を尊重しながら会の活動を率先して推進する役割を担います。

(1) 世話人会の互選により世話人代表をおきます。世話人はこの会を代表します。

(2) 世話人会は会計を選任します。

(3) 世話人会は役割分担として、副代表など必要に応じて担当を設けます。

(4) 世話人会は会員名簿を作成し適切に維持保管します。

6　決　議

決議事項は、世話人会あるいは会員の提案により、会員の総意で決定します。

7　会　計

この会の活動に必要な費用は、特別会計、寄付金、その他の収入でまかないます。

毎年 4 月から翌年 3 月を会計年度とし、会計年度の初めに会計報告を行い、会員の承認を得ます。

8　会則の制定・改廃

この会則は会員の総意で制定し改廃します。

制定・実施　2002 年 4 月 7 日

改定　　2005 年 4 月 17 日